

| 学 校 目 標  | 取 組 の 内 容  |   |
|--|--|---|
|  | 具 体 的 な 手 立  | 評 価 の 観 点   |
| <p>〈教育課程・学習指導・授業改善〉</p> <p>知的障害高等部単独校、地域性を生かした教育課程を構築する。</p>   | <p>① 1年においては、生徒数増加に伴う昨年度の教育内容表を検証し見直す。2年においては、具体的な内容を含めた教育内容表を作成する。3年においては、教育内容表の概要を作成する。</p> <p>② 生徒数増に対応した外部の専門家を活用する等、校外のリソースも生かした社会生活・職業生活に実践的に生かせる指導内容を実践する。</p>  | <p>① 各学年の教育内容表を作成したか。</p> <p>② 社会生活や職業生活に関する外部の専門的な視点を取り入れた実践をしたか。</p>  |
| <p>〈生徒指導・支援〉</p> <p>(1) 自己を客観的に捉え、かつ前向きに課題解決に向かうことができる教育支援体制を整備する。</p> <p>(2) 指導の充実に向けて、校内で共通理解を図る取り組みを進める。</p> <p>(3) 人権を大切にし、個人への配慮がある集団指導を実践する。</p> | <p>(1) ① 面談を通して、生徒自らが目標を具体的に理解し、目標を設定し、振り返る時間を設定する。</p> <p>② 一つひとつの授業の中に、成功体験を積み上げ、意欲を高める学習内容を設定、実践する。</p> <p>(2) アセスメントを目標設定・指導内容に結びつけるポイントを明らかにする等、アセスメントを活用する中で、本校のアセスメントの全体像を構想し、個別の支援計画とアセスメント期間の取組と評価を含みこんだ、個別教育計画システムを整理する。</p> <p>(3) ① SSEを軸としたライフスキル獲得のプログラム（よこひなSSE）の実践と研究を実施する。</p> <p>② 自己および他者を大切にする内容を含んだ日常的な指導を実践し、「いじめ」に至る言動を減少させる。</p> | <p>(1) ① 生徒自らの目標を導き出し、指導・支援をしたか。</p> <p>② 生徒が成功体験を積み上げ、自己効力感を育成し、意欲を高める指導・支援をしたか。</p> <p>(2) 本校におけるアセスメントの全体像を構想し、個別教育計画システムの全体計画を作成したか。</p> <p>(3) ① SSEを軸としたライフスキル獲得のプログラム（よこひなSSE）の実践と研究を実施したか。</p> <p>② 自己および他者を大切にする集団形成に必要な具体的な態度の育成にむけて働きかけることができたか。</p> |
| <p>〈キャリア教育・進路指導〉</p> <p>生徒が卒業後の生活を具体的に想定でき、希望を抱ける進路活動を展開する。</p>  | <p>① 社会集団の中で役割を果たすスキルを身につけるための指導・支援を実践する。</p> <p>② 担任、進路・作業担当が協働し、近隣企業・関係施設と連携する等の地域のリソースを活かした教育活動を広げる。</p> <p>③ 卒業後の生活をイメージしやすくするために、定期的な相談及び、ニーズに応じた適宜・随時の進路相談、教育相談を実践する。</p>  | <p>① 就業支援：企業などの社会集団の中で役割を果たすスキルを身につけるための指導・支援をしたか。自立支援：身近な社会集団の中で役割を果たすスキルを身につけるための指導・支援をしたか。</p> <p>② 担任と進路・作業担当が連携し、地域のリソースを生かした実践をしたか。</p> <p>③ 本人と保護者に対して、分かりやすく進路情報を提供したか。</p>   |

| 学 校 目 標  | 取 組 の 内 容  |   |
|--|--|---|
|  | 具 体 的 な 手 立  | 評 価 の 観 点   |
| <p>〈地域のセンター的機能〉<br/>インクルーシブな教育を目指した地域との連携による支援体制を整備する。</p>   | <p>①各地区の自立支援協議会との協働と、事業所等との情報交換を通し、校内外の児童生徒等に対する支援体制を広げる。</p> <p>②支援教育の推進のため、地域の小学校・中学校等へのコンサルテーション・教育相談を拡充する。</p> <p>③夏季公開講座を活用し、作業学習・企業や事業所・医療との連携について企画、運営を実施する。</p> <p>④地域の学校の教員を対象とした特別支援学校の説明会を実施する。</p> <p>⑤交流や地域行事への参加を通し、本校の教育活動の理解を広げる。</p>  | <p>①各地区の自立支援協議会との協働と、事業所等との情報交換を行い、支援連携体制を強化できたか。</p> <p>②地域の小学校・中学校等へのコンサルテーション・教育相談を拡充したか。</p> <p>③作業学習・企業や事業所・医療との連携した夏季公開講座等を企画、運営したか。</p> <p>④地域の学校の教員のニーズの把握し、近隣県立特別支援学校と連携し、特別支援学校の理解推進を目指した説明会を実施したか。</p> <p>⑤地域に対して、本校の教育活動の理解を広げることができたか。</p>   |
| <p>〈学校運営・学校管理〉<br/>(1)生徒が健康・安全・安心して生活できる学校教育環境を整備する。</p> <p>(2)生徒、保護者、地域から信頼される学校運営を行う。</p>  | <p>(1)①教育環境の充実に向けた課題整理、調整等を計画的に適切に行う。</p> <p>②限られた時間の中でもできる研究・研修システムを検討する。</p> <p>③養護教諭、栄養教諭と連携し、学校安全を確保する体制を充実させるとともに食育指導、健康安全指導等を展開する。</p> <p>(2)①本校の新たな職員体制を踏まえ、地域と連携した防災体制を検証する。</p> <p>②各業務の適格な実施を把握するためのチェックリストの作成し、同時にヒヤリハットを生かし、事故を防ぐ、業務体制を随時検証する。</p> <p>③職員の自己啓発活動を中心とした、教育公務員としての意識向上活動を推進する。</p> | <p>(1)①教育環境の充実に向けた課題整理、調整等を計画的に適切に行えたか。</p> <p>②限られた時間の中で、効率的・効果的な研究・研修ができたか。</p> <p>③学校安全を確保する体制の充実とともに食育指導、健康安全指導等が展開できたか。</p> <p>(2)①地域防災拠点との連携を意識した防災体制づくりに取り組めたか。</p> <p>②各業務の的確な実施を把握するためのチェックリストの作成と活用ができたか。</p> <p>③教育公務員としての意識の向上を図ることができたか。</p> |
| <p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など<br/>社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力の育成をめざして</p> <p>(1) 他者と適切な関係を築くための力を身につける。</p> <p>(2) 日常生活に必要な基本的な生活能力、生活習慣を着実にする。</p> <p>(3) 責任を持って社会的役割に取り組む姿勢を身につける。</p> <p>(4) 生きる楽しさを体感することにより、将来に対する希望と自信を持てるようにする。</p> <p>インクルーシブな社会を実現するための啓発・支援活動の展開するために</p> <p>(5) 地域の理解推進を目指し、地域とつながり地域と協働する。</p> <p>(6) 地域の学校のインクルーシブ化を推進する地域支援を展開する。</p> |  |   |